

はじめに

地元の環境NPO団体である足立グリーンプロジェクト（発足当時は前身団体であるハイランドプランが団体名称でした）の提案を受け、平成14年10月17日に六町エコプチテラス事業がスタートしました。

この事業は区内でも初めての試みであり、土地区画整理事業用地という公共用地にプチテラスという公共施設の位置づけを与え、環境への取り組みという社会的なテーマを与えることにより、これまでにない事業型公共施設管理運営を試みたものです。

また、計画から整備、維持管理、事業運営を住民団体との協働により行うこととし、区は用地を、公社はプチテラス管理運営の仕組みを、地元団体は区民自立の管理運営事業をそれぞれ提供し、持ち寄りによるまちづくりに取り組んできました。

そして、この事業を通じて、当面未利用の区有地が活用され、地域レベルの新たな環境の取り組みが促進され、地域コミュニティの育成・都市景観の向上・区民の自立といった成果を達成しているところです。

しかし、土地区画整理事業が早期に進捗し、土地を明け渡さざるを得なくなったことから、この事業は終了することになりました。

そこで、足立区都市整備部まちづくり課・財団法人足立区まちづくり公社と足立グリーンプロジェクトが話し合い、今後区と公社がやらなければならないこととして、これまで多大な成果を残してきたこの事業を継承し、将来のまちづくりにつなげていくことが必要であるとの結論に至りました。

以上の事柄をふまえ、区と公社では、『この事業をきちんと振り返り、適切に評価したうえで、将来のまちづくり施策を提案する「まとめ」を作成すること。』と、『公共施設を一定期間モデル事業に使用した立場として、その説明責任を果たす。』こととしました。

これが、この「まとめ」を作成し、公表することとなった経緯です。

まとめの構成は次のとおりです。

○第1章：どのような経緯を経てこの事業が開始されたのか、そして事業内容と実績はどのようなであったかを、足立グリーンプロジェクトのホームページを基に整

理しました。

- 第2章：この事業が区民提案型の協働事業として良かった面・反省すべき面や総合評価を明らかにするために、足立区協働化推進室が発表している評価シートをベースにして自己評価を行いました。
- 第3章：本事業に区の施策とすべき意義があるかどうか、また、区の施策として展開が可能かどうかを、この事業内容の分析評価と、既往の区の事業との比較検討を通じて検証しました。
- 第4章：第3章での検証をふまえ、あだち版のコミュニティガーデンを実現させるための骨子の提案を試みました。
- 第5章：第1章から第4章までの記述の根拠となる資料

最後になりましたが、区と公社は、この「まとめ」を活かし、六町エコプチテラス事業が5年間の活動で育んできた成果を施策に発展させることを責務と捉え、新たな事業創設に向けて取り組んでまいります。

そして、この取り組みにおいては、足立区自治基本条例を遵守し、また、協働に欠かせない「目的の共有」・「透明性」・「相乗効果」・「対等性」が十分に達成されるよう実践してまいります。

平成20年3月15日

足立区都市整備部まちづくり課

財団法人足立区まちづくり公社